

研究の概要

重症心身障がい児は疾患により唾液の分泌が多い。流延により皮膚トラブル、臭気、衣類の汚染が生じやすく、何回も衣類交換が必要であり不快感を感じていると考えられる。流延によるこれらの不快感を軽減するため、唾液腺アイスマッサージを実施し唾液分泌の軽減を図る。当病棟の過去の看護研究において唾液腺アイスマッサージの効果の検証を行ったが効果には個人差が見られた。今回の検証ではアイスマッサージの方法に内容を追加し実施する。

研究期間

承認日より2022年9月30日まで

研究機関の名称及び研究機関の長

独立行政法人国立病院機構山形病院
院長 川並 透

研究責任者の氏名

看護部2病棟
看護師 浅野目 紗綺

オプトアウト

特記なし